

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 日進工具株式会社

コード番号 6157 URL <http://www.ns-tool.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 勇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 田島 寛

TEL 03-3763-5672

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,457	23.8	231	65.3	244	62.9	138	64.3
23年3月期第1四半期	1,177	46.7	140	—	149	232.1	84	94.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 138百万円 (64.3%) 23年3月期第1四半期 84百万円 (94.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	89.99	—
23年3月期第1四半期	54.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	7,368	6,288	85.3	4,023.31
23年3月期	7,143	6,164	86.3	4,006.55

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,288百万円 23年3月期 6,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,780	15.3	390	3.3	405	1.3	225	△3.3	144.94
通期	5,635	13.2	790	△0.6	810	△3.0	460	7.7	295.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料3ページ「その他」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	1,563,000 株	23年3月期	1,563,000 株
24年3月期1Q	1 株	23年3月期	24,301 株
24年3月期1Q	1,541,637 株	23年3月期1Q	1,538,699 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や計画停電の影響等から、多くの製造業において生産活動が停滞したほか、自粛ムード等消費者マインドの悪化による個人消費の減速もあり、非常に厳しい状況となりました。しかしながら、生産現場を中心とした懸命の努力により、当初の見込を上回るペースで復旧が進み、原発事故や夏場の電力不足、また米国景気の後退や新興国でのインフレ懸念といった不透明要因はあるものの、生産活動回復の動きから消費も含め持ち直しの動きとなりました。

当社グループの主要先におきましては、震災によるサプライチェーンの寸断から自動車関連において4月の生産台数が前年の3割程度にまで落ち込んだほか、デジタル機器関連におきましても、部品調達の滞りによる生産停止や発売遅延といった影響が発生しました。しかしながら、多くの製造業で当初の予定を大幅に上回るピッチで生産設備の復旧が進み、それに伴い生産量も増加の動きとなりました。

このような経営環境の下、当社グループでは、「お客様に迷惑をかけない」ことを最優先として、一時的に開発部門の人員も生産に加わる等全社一丸となり、被災により遅れの発生した仙台工場の生産量拡大に努めたほか、生産子会社の協力やお取引先企業のご支援を得て、ほぼ通常通りの出荷を継続いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,457百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は231百万円（同65.3%増）、経常利益は244百万円（同62.9%増）、四半期純利益は138百万円（同64.3%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間において、工具ケースを中心としたプラスチック成形品の製造・販売を主な事業とする、株式会社牧野工業の株式を取得し連結子会社化いたしました。

当社グループは、従来超硬エンドミルを中心とする切削工具事業の単一セグメントとなっておりましたが、同社を連結対象としたことにより事業セグメントを下記のとおり変更いたしました。

当社グループでは、製品の製造様式、製品の市場及び顧客を系統的に区分した製品部門別に戦略を構築し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製品部門別のセグメントから構成されており、「エンドミル関連」と「その他」の2つを事業セグメントとしております。「エンドミル関連」は当社グループが営む主力の事業であり、超硬小径エンドミルを中心とした切削工具の製造販売にかかる事業であります。また、「その他」は工具ケースを中心としたプラスチック成形品の製造販売にかかる事業であります。なお、「エンドミル関連」は、製品のサイズ等により、エンドミル（6mm以下）、エンドミル（6mm超）、エンドミル（その他）に区分しております。

なお、「その他」の事業セグメントの売上高、利益又は損失の額及び資産の金額がいずれもすべての事業セグメントの合計額の10%未満であるため、報告セグメントを1つとしております。

製品区分別の売上高は、自動車やデジタル機器関連における生産規模が当初の見通しを上回るスピードで回復したこと、また、お取引先様の一部で当社製品の在庫を積み増す動きがみられたこと等から、「エンドミル（6mm以下）」が909百万円（前年同期比3.7%増）、「エンドミル（6mm超）」が201百万円（同27.6%増）、「エンドミル（その他）」が228百万円（同61.1%増）といずれも前年同期に比べ増加いたしました。「エンドミル（6mm以下）」の増加率が他の製品区分に比べ小さくなっておりませんが、これは東日本大震災の影響により、「エンドミル（6mm以下）」を生産する仙台工場の稼働が一時ストップしたことによります。また、「エンドミル（その他）」の増加率が大きくなっておりませんが、これは主にこの製品区分に含まれるCBN製品が増加したことによるものであります。なお、「その他」の売上高は117百万円となりましたが、当該製品区分は工具ケース等の製造・販売を行う株式会社牧野工業を本年4月1日に連結子会社化したことにより新たに発生したものであるため、前年同期との比較はありません。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は224百万円増加して7,368百万円となりました。これは主に、株式会社牧野工業の連結子会社化や設備投資に伴う建設仮勘定の増加により、有形固定資産が251百万円増加したことなどによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して101百万円増加し、1,079百万円となりました。これは主に買掛金並びに未払金に合わせて299百万円増加した一方、未払法人税等が189百万円減少したことなどによります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加及び第三者割当による自己株式の処分などにより123百万円増加し6,288百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間の自己資本比率は85.3%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当社も含め多くの製造業で当初の予定を大幅に上回るピッチで生産設備の復旧が進み、それに伴い生産量も急速に回復していることから、売上高は当初の見通しに比べ1割程度増加するものと判断いたしました。また売上高の増加に伴い、工場稼働率の向上等から利益面におきましても当初の見通しを上回るものと見込まれますことから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年7月29日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,958,376	2,652,328
受取手形及び売掛金	739,417	920,264
商品及び製品	409,088	416,209
仕掛品	120,375	135,328
原材料及び貯蔵品	156,896	206,641
繰延税金資産	85,010	86,093
その他	18,217	26,948
貸倒引当金	—	△2,200
流動資産合計	4,487,383	4,441,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	951,529	939,341
機械装置及び運搬具(純額)	1,017,043	1,034,485
土地	346,394	409,146
建設仮勘定	45,756	201,358
その他(純額)	62,057	89,541
有形固定資産合計	2,422,781	2,673,874
無形固定資産	9,678	10,372
投資その他の資産		
投資有価証券	42,542	46,742
繰延税金資産	84,154	84,154
その他	96,810	116,784
貸倒引当金	—	△5,461
投資その他の資産合計	223,506	242,218
固定資産合計	2,655,966	2,926,465
資産合計	7,143,350	7,368,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,332	259,122
未払法人税等	289,249	99,758
賞与引当金	74,651	39,634
役員賞与引当金	45,000	10,000
その他	221,389	410,037
流動負債合計	734,623	818,552
固定負債		
退職給付引当金	52,471	53,677
役員退職慰労引当金	187,475	204,450
負ののれん	3,912	2,845
固定負債合計	243,858	260,972
負債合計	978,481	1,079,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	5,408,913	5,439,858
自己株式	△92,744	△3
株主資本合計	6,164,869	6,288,554
純資産合計	6,164,869	6,288,554
負債純資産合計	7,143,350	7,368,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,177,188	1,457,227
売上原価	659,998	801,253
売上総利益	517,189	655,974
販売費及び一般管理費	377,181	424,500
営業利益	140,008	231,473
営業外収益		
受取利息	113	264
受取配当金	229	4,189
負ののれん償却額	1,066	1,066
負ののれん発生益	—	2,643
経営指導料	3,600	600
その他	5,065	4,583
営業外収益合計	10,075	13,347
営業外費用		
その他	234	667
営業外費用合計	234	667
経常利益	149,848	244,154
特別損失		
固定資産売却損	228	62
固定資産除却損	780	3,271
災害による損失	—	2,998
特別損失合計	1,009	6,332
税金等調整前四半期純利益	148,839	237,821
法人税等	64,371	99,083
少数株主損益調整前四半期純利益	84,467	138,738
少数株主利益	—	—
四半期純利益	84,467	138,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,467	138,738
四半期包括利益	84,467	138,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,467	138,738
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月3日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を決議し、平成23年6月20日付で処分を行いました。これにより、当第1四半期連結会計期間において自己株式が92,740千円減少しております。